

令和5年度 恵那北小学校だより

10月20日号

げんきたっ子



一人一人がかがやいた運動会

校長 市川 伸美

10月14日の運動会には、たくさんの応援をありがとうございました。今年の運動会は、応援合戦でも、仲間を応援する場でも、みんなの声援で、会場がひとつになっていました。応援されると、力が湧くものだと改めて実感しました。

この運動会を行うにあたり、地域の皆様による運動場の草取りや整備のおかげで練習に励めたこと、資源回収のご協力のおかげで一輪車を購入できたこと、改めて感謝申し上げます。

1学期、6年生に教室へ案内されました。そこには、タブレットを使ってプレゼンテーションが用意されていました。運動会で全校の絆をもっと深めるために、全校種目を増やしたいという願いを私に伝えるためでした。1年生にも負担が少ないルール、安全や所要時間についてもよく考えられていました。6年生全員が、緊張しながらも丁寧に話す姿を見て、小学校最後の運動会を最高のものにしたいという熱い思いが伝わってきました。職員と相談の上、全校綱引きを実施することにしました。運動会当日、赤組と白組が全員で綱を引き合い、「あーか、あーか」「しーろ、しーろ」という掛け声や、勝って共に喜ぶ姿から、仲間と心が一つになり、絆が深まっていたと感じました。



3年生と4年生は、一輪車競技に出場しました。低学年のうちから乗れていた子、3年生になって一生懸命練習した子、すいすい乗れてもさらに技を磨こうと練習する子、それぞれの思いで練習をしてきました。ときには練習の成果が出せず、つらい思いをすることもありましたが、それを仲間と共に乗り越え、一人一人に達成感がある取組でした。

運動会
スローガン

全力協力努力がかがやけ

初めての小学校の運動会で、たくさん
のことを覚え、最後まであきらめないで力を出

せた1年生、1年生に気を配り、体を大きく使って「アンダー・ザ・シー」のダンスを披露した2年生、仲間と高め合えた3年生、係活動にデビューし、立派にやり遂げた4年生、高学年として全校のことを考え全力を出した5年生、一人で何役もこなし、最高の運動会に導いた6年生。一人一人がなくてはならない存在でした。そして、それぞれがかがやき、大きく成長できた運動会でした。

子供たちを支えてくださった保護者の皆様、心から感謝申し上げます。ありがとうございました。